



KWACHA

NO.4

Kwacha (クワチャ) はチェワ語で「夜明け」を意味します。

1988 年度に向けて

1986 年度事業計画 (案) まとまる

主な事業

1. 広報活動

- (1) 機関紙「KWACHA」の発行
- (2) 候補生、留守家族、OG・OB及びマラウイからの研修生を交えた懇親会の開催

2. 出版物の観光

- (1) チェワ言語辞典の改訂版の準備
- (2) 比較生活文化辞典の作業継続
- (3) ノンバーバル事典 (マラウイ編) の資料収集

第6回 通常総会を来たる5月28日(土)

開催します。ぜひご出席ください

・日時 5月28日(土) 3時~5時

・場所 ヒルポートホテル 2階西フォーラム

渋谷区桜丘町 23-19

Te l. 4 6 2 - 5 1 7 1

[ノンバーバル事典]

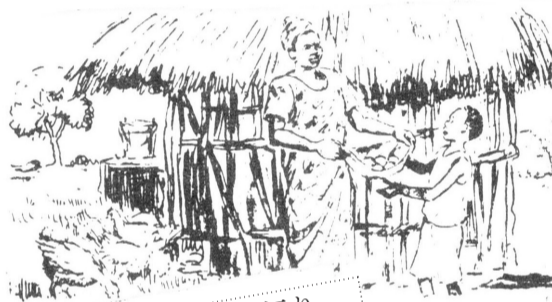
コミュニケーションはことばだけでなく、しぐさやノンバーバル (非言語的手段) によって行なわれます。同じしぐさでも国によって意味することは異なります。いよいよ今年度より資料収集を行いたいと思っています。



アメリカ、メキシコ、フランスなどで「幸運を祈る」、中国では「10」を意味する



日本、韓国で「恋人」、インド、スリランカで「トイレに行きたい」、中国では「つまらない」



マラウイからの便り

Malawi News Mrrch 5/11, '88

読者のコーナーより

Dear sir,

親愛なる 'Alr Malawi' 社に提言したいことがあります。魅力的なエアホステスとグランドホステスの洋服に何か伝統的なものが足りないと思うのです。'白と赤'の西洋風の制服は確かにファッションブルで人目を引き付けますが、私にはスリーピースの 'chilundu'の方がもっと航空会社の制服にふさわしいと思うのです。乗務員として数々の国々を飛び回るので、マラウイの伝統的な服装を世界中に見せたらどうでしょう。

私の知っているだけでも、多くの航空会社はその国の伝統的な服装を制服として好評を得ています。そのどれよりもマラウイの 'chilundu' が素敵だと私は思います。

J. P. Jr (Blantyre)

Dear Sir,

50kg入りのウファがなぜ売りに出されないのか不思議です。'Grain Milling'社は5、10、20Kgを販売していますが、20Kg以上の袋入りはどこの店でも扱っていませんから、工場までいかない手

☆ JICA におけるマラウイへの調査団派遣 ☆

— 最近の実績から —

(1) 厚生省向医療用機材の据え付け指導

61年度マラウイ厚生省向単独供与した

医療用機材に係わる据え付け指導

実施者: (株) 島津製作所

実施時期: 62年10月8日より30日間

(2) マラウイ共和国北カウインガ地区地下水

開発計画

マラウイ国北カウインガ地区住民への飲料水の

供給のため新規井戸の掘削および手押しポンプの

据え付けを行なうとともに既存井戸のリハビリを

行なう。

実施者: 日本技術開発 (株)

実施時期: 62年10月15日より16日間

(3) 農業用多目的倉庫建設計画

農業用倉庫の絶対数不足、老朽化により穀物類

が野積み保管され、損失が著しいバングラ地区に

多目的倉庫を建設するため基本設計調査を実施す

る。

実施者: 日本総合建築事務所 (株)

実施時期: 63年2月18日より35日間

に入りません。我々のような大家族持ちの消費者にとって長い道のりを、'Gramil'工場まで行き、30kgでも買って来るのは容易なことではありません。そろそろ50kg入りのウファが売りに出されても良い時期ではないでしょうか。

B. C. (Karonga)

入会のおすすめ

日本マラウイ協会 (Malawi Society of Japan) は、日本とマラウイ両国間の理解を深め、文化、スポーツ、経済、科学技術等の協力を通じ、相互の繁栄に寄与することを目的とする任意団体です。

趣旨を御理解の上、広く各位の入会を希望します。

入会方法

所定の入会申込書に各項記入の上、入会金 (個人正会員は1,000円) 及び年会費 (同年額3,000円) の合計 (個人正会員の場合は計4,000円) とともに、下記にお送りください。

〒106 東京都目港区南麻布

第2佐野ビル601

TEL03-446-3574

なお、入会金及び年会費は下記の銀行口座へ送金して下さっても結構です。

三和銀行 東恵比寿支店

普通口座 255739

口座名義人: 日本マラウイ協会

会長 卜部敏男

また、協会規約・入会規定その他については上記住所の協会、もしくは別掲貝塚光宗 (協会専務理事) あてお問い合わせください。

会費納入のお願い

* 会費は年 3000 円です

* 上記銀行口座をご利用ください。

♪♪♪ まるごとマラウイ ♪♪♪

日本の農業技術を学ぶために留学しているマラウイ人に偶然出会ったのは3月6日のこと。彼の名はジョージ・カペレメラ。リロングエの畜産局勤務で、キリスト教関係の奨学金を得て2年半日本に滞在しており、日本語も上手でし

た。3月26日の離日直前にホームステイ先の埼玉県鶴ヶ島町の北公民館において講演会があることを知り出かけて行きました。鶴ヶ島町、マラウイ国友好講演会「まるごとマラウイ」を企内達営したのは今年卒業したばかりの地元、西中学生。昨年8月ふとしたことから知り合ったジョージさんに「目標をしっかり持って強く生きてほしい」と励まされたことに感謝してお別れ会を設定したとのこと。当日、ジョージは巧みな日本語で、彼個人のことから日本とマラウイの違い、そして日本の若い世代への励ましとして、「学ぶことの意味は、生きる力を養うため

にある」と繰り返し訴え、多くの聴衆は真剣なまなざしで聞き入っていました。



マラウイ研修員の日本印象記

去る12月5日協力隊事務局食堂にて62年度マラウイOG・OB懇親会を開催しました。70名近いOG・OBと3名のマラウイからの研修生が参加し親睦を深めました。研修員は110カ月の研修を終えて3月26日に離日しました。離日にあたり日本での生活の印象を書いてもらいましたのでここに紹介します。

ムトンガさんは、秋田市の電気工事会社で研修を受けました。

I am Bneffine Anthony Thomson Mtonga. I come from Malawi in Mzimba dstrict. I am working with the Ministry of Works and Supplies and attached at Kamuzu International Airport.

Topics of Trairling

- A.High voltage tests……
- B.Practice and practical theory……
- C.Electronics……

……………省 略……………

The above points are a brief summary of what I have studied here in Japan. The experience and knowledge Which I have gained will be very beneficial in Malawi.

Comments

Malawi needs more practical technical trainees in the electrical field so that efficiency of the technical staff is boosted up. It will also help to cater up to date technicians for electrical installation projects and maintenance aspects, skilled manpower in the technical field is one of the back ones of any country's development. In all, more emphasis should be put on practice.

However, language is one of the importan medias of communication. Therefore, the Japanese language should be thoroughly studied in order to enhance more understanding between the instructions and the participants.

Finally I thank the Malawi(OB) Association for inviting us for a Party which was very enjoyable. In fact, it had all the Malawi atmosphere. I will remember it even in Malawi. I would also take this opportunity to thank all Japanese organizations who are promoting internationalization and mutual exchange foe the work they do in Japan as well as overseas.

※当日は研修員の旅費に多くのOG・OBの皆様からカンパ頂きました。ありがとうございました。

ジェレさんは、秋田市の地質調査会社で研修を受けました。

My name is Stanley Kajumi Jere and I come from Mzimba, a Northern Region district in Malawi. I am 27 yeaes old and work for the Design Department of the Ministry of Works and Supplies in Lilongwe, and I am a civil servant.

Here in Japan, I have been a technical trainee with the Akita Prefectural Government. For the Past ten months, I have been studying soil engineering at Akita Boring Company. During my training I covered the following:

- 1.Alterberg limits and indices
 - a.Liquid limit
 - b.Plastic limit
 - c.Shrinkage limit
 - d.Liquidity index and consistency index
- 2.Specific gravity test
- 3.Grain size analysus
- 4.Consolidation test
- 5.Shear strength tests
- 6.Permeability tests
- 7.Compaction and CBR tests

I have learnrd a lot of new techniques in soils testing and hope to utilize them in every possible way in Malawi.

……………省 略……………

I have also visited many Japanese homes and have come to know the people and their culture. Generally, the Japanese people are very kind and easy to mix with. It was very nice for me when I was being asked avout my country and how we like there. I would then go on explaining about the culture of the Malawian people and the scenes in Malawi. And I particularly liked this kind of exchange because it was cultural exchange and general knowledge of each one's country. I will rally miss the so many friends I made here in Japan when I go back to Malawi.

I would like to express my heartfull gratitude to the Akita Pre. Gov. for allowing and arranging my training in Akita city. My gratefulness also goes to President, Management and staff of Akita Boring Company for making my training in their comoany, a successful one. I wish them good luck as they look forward to training others.

I would also like to thank the Japan-Malawi Association for inviting me and my colleague, Mr.Mtongato their get together party last year in Tokyo. It was a good time meeting friends whom we had worked with in Malawi. I just wish a prosperous future for the organization and God's blessings & good health to all its members.

If it were possible, I wish I had stayed longer than the ten months so that we could see each other many times more.

新隊員情報

62年3次隊14名は3月26日、マラウイに向け出発しました。

☆☆新隊員にマラウイへの赴托を前にその気持ちを語ってもらいました☆☆

伊藤 勇 (電話交換機)

私は任国の電話局で交換機の保守を担当することとなるが、ここでは働いている人達の保全に対する意識を改善したいと思う。

物が故障しないよう管理するのではなく、故障してからいかに回復させるかが、彼等の考えている保守のように思う。そこで任国では予防保全を徹底させ、障害件数を激減させるよう努力したいと思う。運輸通信省郵便電話局 (リンベ)

作田敦子 (栄養士)

何ととっても一番の不安は英語である。英語、チェワ語で医学用語を理解し、栄養指導ができるまでにはまだまだである。とにかく毎日の積み重ねが必要と思う。

なにができるか?それは2年の間もずっと続く疑問かもしれないし、帰ってきた時にはその間何をしてきか?と思うかもしれない。しかしそれはそれでいいことにして、只今は初心を忘れずに2年間頑張りたい。そして協力隊に参加しなければ知ることのなかったであろうマラウイという国を、しっかり見てきたい。Q E C H (プランタイヤ)

大城美由紀 (助産婦)

3カ月の訓練をやっと終え 約 10日間の貴重な日々。両親の諦めにもにた複雑な顔を見ながら、出発の日に向けてあわただしく準備をしている。2年間が長いのか短いのか?あと何日かで始まろうとしている。聖アン病院 (コタコタ)

西川忠明 (建築)

協力隊活動での目標は、2年の間に積算のできる人を育てたいと思っている。これは最高の目標である。ともかく、自分の存在感が少しでも残るような仕事をしたい。形にならなくとも、現地のスタッフの心に残ればいいと思っている。

地方住宅振興協会 (リロングエ)



チェワ語・日本語辞典発刊

当協会が発足して以来の念願であった「チェワ語・日本語辞典」を62年5月に発行しました。精選単語約2000語についてチェワ語から日本語へと、その逆のいずれの場合にも使えるようにしてあります。価格は1000円(会員は無料)。

…皆様の近況をお知らせ下さい…

転居・結婚・出産などのニュース、そしてつれづれなるままに書かれたことなど幹事もしくは事務局までお寄せ下さい。

*福田敏彦(56/3)氏の個展が神奈川県立県民ギャラリーで、4月19日~24日まで開かれました。

日本マラウイ協会機関誌
「Kwacha」(クワチャ) 第4号
発行 日本マラウイ協会
〒106 東京都港区南麻布5-1-24
第2佐野ビル 601
1988.4.30 発行